会長就任に際して

中野　宏*

去る4月4日の総会において皆様のご推挙に従い，日本鉄鋼協会会長をお引受けすることになりました．非才の身ではありますが，お引受けした以上皆様のご支援のもとで大いに努力する所存でいますので，よろしくお願いいたします．

さて当協会は従前から，日本はもちろん世界鉄鋼技術の進歩発展を念願として，世界各国との間の交流を盛んにする方向で活動を続けてきていますが，これは今後も大いに力を注ぐべきであると思つております．顧みると，わが国鉄鋼技術は戦前においては主としてドイツに学び，戦後はアメリカの大量生産方式を導入し，加えて急激に拡大したわが国経済界の発展を背景に，オーストリアで発明されたLD転炉法をいち早く導入し，世界にさきがけてその操業技術を確立したほか，種々自らの技術を開発するまでに至つたのでありますが，これは過去においてドイツが英国で開発されたトーマス製鋼法を導入し，この技術を確立して英国を追い越し世界最大の製鉄国となつたのによく事情が似ています．

鉄鋼業の発展途上，原材料の制約に突き当たつたとき，種々研究を進め方策を樹てこれを打ち破つた国が，しばらくは世界における第一人者となることは過去の歴史に明らかであります．たとえば，高炉用還元剤としての木炭の枯渇を石炭の利用に切り換えた英国，含燐鉄鉱石ミネット鉱をうまく活用しえたドイツ，そして近年の日本が大型専用船の利用を実施して海外資源の有効活用を可能にしたのもこの一例と言えると思います．

日本の場合，資源確保の関係からも世界の平和が保たれることがもつとも必要であり，また資源国との一層の友好信頼関係が保たれるよう配慮することは，これまた非常に重要なことであります．かりそめにも，わが国の鉄鋼技術は現在世界の最先端にあり大いに指導を行なつてやるぞとの態度を示すがごときは，大いに慎しまねばならぬところであります．

一方，鉄鋼技術の進歩発展は，産業界の全般的発展に伴う需要の増大に刺戟された鉄鋼業界の躍進の時期に，より多く行なわれるように思えます．もちろん鉄鋼業の進歩によつて，各産業界の隆盛が齎らされるとの見方もできます．いずれが因でいずれが結果だと言い切れぬ深い関係にあるのは事実でありましよう．幸いに日本は，ここ十年来経済は大いに拡大され，鉄鋼生産も飛躍的な伸びを示してきました．しかし最近になつて一つの曲り角に差しかかつていると言われています．われわれはこの機会に改めて事態を静観し，これに対処する途を明らかにしなければなりません．いずれにしても，技術開発の必要度はますます高まつてきていることは間違いはありません．

技術の開発に主導的役割を果たしてきた国は，過去においてドイツであり，英国であり，再びドイツとなり，最近までは米国でありました．近時はソ連の躍進が目立つています．日本もここ十数年来大いに技術レベルを高めることができました．一方，前述の過去において主導的立場にあつた各国の技術開発の状況は，必ずしも往時のような潑剌さを示してはいないように見えます．時代が移り，環境が変わつたためでありましようが，それらの国々では鉄鋼業の魅力が次第に薄れてきているように見受けられ，したがつて技術陣の層が薄まつているやに見受けられ，これが大きく影響しているように思えるのであります．日本においては，鉄鋼界は依然として若い人々の魅力の対象となつています．したがって優秀な技術者を豊富に抱えています．数多くの世界一流の学者の方々とこの優秀な技術者達の存在は，

* 本会会長　日本鋼管(株)副社長

日本における将来の鉄鋼技術の進歩に多大の期待をいだかせる大きな要因であります.

鉄鋼業の力のあるところに産業の発展があり，国の繁栄があります. 今後とも鉄鋼業が強力であるためには，技術開発力が旺盛でなければなりません. そのためには先生方および技術者が手を携えて，わが国の技術の進歩を図らなければならぬのは言うまでもありません.

幸いに当協会には共同研究会が組織され活動しております. 共同研究会は永い歴史の中でいろいろとその役割を果たし，技術の進歩に大いに寄与してきました. 今後はますます大きな期待を背負うこととなるので，マンネリズムに堕することなく，いよいよその活動が活潑になることを強く希望しています.

次に，ご承知のように，現在の日本経済界はいろいろの原因から，いままでに例を見なかつた長期の不況に見舞われており，これが打開のためにあらゆる手を打ちつつあるのでありますが，その一つに従来行なつてきている企業運営の方法をいま一度見直してみることが行なわれています. 従来とて各社は，合理化の努力をしてきているのですから，見直しをしたとて大きな問題は見付からぬ筈ですが，やつてみるといろいろの改善の途が見付け出されているのであります.

当協会の運営においても，この際いま一度，より合理的な運営方法はないか改めて考えてみるのも無駄ではないと考えております. この点についても会員各位の活潑なご意見を承りたいと思います.

問題は数々あつて，次々に解決していかなければなりませんが，この解決に当たつては，古くから言われているようにあらゆる場合，人の和が非常に大切であります. 協会においても個々の会員相互の理解を深め合えるようにと，懇親の場を設けることにも大きな配慮を払つてきていますので，会員各位におかれても努めて友情を深め，手を取り合つて，日本鉄鋼技術の進歩のためにご努力下さるよう願つてやまぬ次第であります.

会長就任に当たり，所感の一端を述べてご挨拶といたします.

鉄鋼業が強力であるためには

- 技術開発力が旺盛である必要がある。
- 人の和